

にこ通

令和5年5月

おひさしぶりです!

vol.119 あ

長い冬眠から目覚めました笑

30年ぶりの2回目

巨人ファンになった日(笑)

子供の頃、毎日テレビで観ていた巨人戦。

巨人が勝っていれば父も上機嫌でいっしょに観戦、劣勢になると「いつまでテレビ見とらんや。勉強せんかい!」子供心に「なんて理不尽な親や」と思っていた?;

18才で金沢の実家を離れ、富山で生活。

それから、「どこのファン?」と聞かれるが「巨人」と答えるが、勝敗への関心はなくなっていた。実績のある他球団選手を買い続ける球団の体質にも嫌気がさし、巨人戦のTV放送が減るとともに興味も薄らいでいった。

たまに実家に帰ると、飲みながら父からジャイアンツの近況を聞く。

そんな感じで20年以上の月日が流れた。

昨年ふいに思い立ち、東京ドームでの巨人戦に両親を誘った。

親と過ごした時間がとても楽しく、今年のゴールデンウィークにも行って来た。

「ここで一発頼むぞ!!」「ナイスバッティング!!」

81才の父がまだまだ元気なことを感じられて嬉しかった。

昔しくも巨人は負けてしまったけれど、そこにはその時間を楽しんでいる父の姿があった。

「最近 野球ばかり見てない?」

先日、妻から言われてハッとした。そういえば、帰宅後ケーブルテレビで巨人戦の中継チャンネルを探している自分がいる。子供の頃見ていた父の姿だ。(笑)

父は高校教師を定年退職後も、講師として70才まで勤め上げた。

人との関わりの中での仕事は、楽しいことばかりではなかっただろう。

ストレスやプレッシャーを抱えながら、家族にも話さず、一人で消化していたこともあったと思う。

日課だったジョギングや家族との時間、家での巨人観戦が、自分の気持ちを開放できる場所だったんだよね。今なら分かる気がする。

そう思うと、巨人戦を観ながら缶ビールを1本飲む時間も捨てたもんじゃない。

今日一日ガムばたご褒美。これからは、父とも巨人をネタに美味しいお酒が飲みそうだ。

そんな自分にひとつだけ言い聞かせていることがある。それは、

「巨人が負けていてもそれはそれ、お茶の間は笑顔で過ごせる自分ているんだよ」

ということ。戒めのために、今から妻にコレを読んでもらうことにしよう。笑